

住民活動者の指摘、意見【高齢者・保健医療福祉】

大区分	テーマ	居住地	地域の話題、課題	地域としての解決策、アイデア	今後の検討方策や検討の進め方
地域活動	高齢者  保健・医療・福祉	北檜山区	<p><b>【全町的な医療体制】</b> 病院医療問題、薬ももらえない状態になっている 今後の病院の内容について 北檜山区は福祉については本当によくやって頂き、ありがたい</p> <p><b>【高齢者の負担問題】</b> 高齢者の税金問題</p>	<p><b>【全町的な医療体制の充実】</b> 優秀な小児科医を、週二回位の巡回診療をお願いする</p>	
		大成区	<p><b>【高齢者の増加、介護の不安】</b> 高齢化に伴い、今後は、寝たきり老人や要介護者が心配患者本人が、通院中や診察時の対応が難しくなってきたり 通院する患者の送迎バスの乗車や病院に着いてから診察時に、説明がうまく出来ない等の問題</p> <p><b>【地域に密着した安心できる医療】</b> 病院の問題。老人の世帯が多く、通院や専門医の治療を受けるのに函館等で遠く、地元で医師の確保が必要 大成国保病院が診療所としてでも残れるのか？院長が残ってくれるのかというのが住民の最大の関心 医療の現況について不安がある・・・内外科医の配置をしてほしい 安心して病院にかかれる体制づくり 区内の通院や役場へ行くのは通院バスを使っていて、これから北檜山方面まで、行くことがあれば、大成区の高齢者は不便</p> <p><b>【除雪の不安】</b> 除雪について不安 同じ税金を納めているのに小路になると除雪車が入ってこない</p>	<p><b>【総合的な保健、医療、福祉の仕組みづくり】</b> 行政・地域での老人世帯に対する。自立生活に向けての支援。、病院だけにとどまらない、健康体づくりの支援 高齢化問題については地域での助け合いや支え合いの仕組みをつくり、特に元気で長生き出来る様に健康づくり活動を活発に元気が一番だと思おう 健康づくり活動の活発化 高齢者への行政や社会福祉協議会、ボランティア等の対応出来る制度等が必要</p> <p><b>【全町的な医療体制】</b> 3区の地域エゴを無くしたまちづくりを基本にする それぞれの病院、診療所で医師交流による特診の実施を検討してほしい（専門医配置前提） 町の三医療機関を連携させた診療体制をつくる 医療についての改革なのだから中央集中はやむをえず、メリハリをつけわかりやすい医療改革を望む 病院にあるCTなど医者が使っていて結局見れないのなら、売ってお金に変え、少しでも足しにしたらい</p> <p><b>【地域に密着した安心できる医療】</b> 医療機関は必要かくべからざるものと思っている。たとえ小規模でも10床くらいのベッド数は残してほしい 病院を診療の場だけでなく、いこいの場としても活用 大成区の国保病院を診療所にしてもいい</p> <p><b>【在宅福祉に対応した高齢者医療の確保】</b> 在宅福祉サービスの充実 通院バスの運行など</p>	<p><b>【全町的な関係者の意向や実態の把握】</b> 高齢者や役場（保健師、ケアマネ等）社会福祉協議会、ボランティアの意見や実態を調査する必要があるのでは</p> <p><b>【地域ごとの住民懇談会の開催】</b> 町では、医療審議会が発足しているが、一般においても各地域ごとの住民と関係者との懇談会を行い、その後全町的な検討会が必要なのでは</p>
		瀬棚区	<p><b>【高齢者の総合的な保健・医療・福祉の仕組みづくり】</b> この土地にいながらにして、充実した医療が受けられることが何よりも大事である。そのためには予防医療も含めた町づくりを優先させるべきである 高齢社会の今日、ノーマライゼーション（等生化・共生化）への関心と理解、行動力が望まれる 福祉に対して感心と理解とモチ、そのための地域づくり 高齢者や障害者が様々な交流の場があって自分の能力を生かした社会参加が出来ること 一人暮らしや夫婦世帯への交通費の援助事業の拡大</p>	<p><b>【総合的な保健・医療・福祉の仕組みづくり】</b> 老後は安心して過ごせる町づくりを進め、均衡を図ってもらいたい 予防医療を推進し、病気にかからない体づくりをする 健常者・障害者・超高齢者（ひとり暮らし）が安心して暮らせる。助け合い、支え合い、励まし合いの地域づくり・町民みんなが健康で安心して暮らせる医療体制を整える 医療福祉の課題解決に医師の意見を取り入れ、予防医療に力を入れる</p>	<p><b>【全町的な関係者の意向の把握、意見交換】</b> 幅広く各種福祉団体や関係機関、町内会長会議等を開催してニーズや問題を集約、検討し、その結果を計画づくりに反映させる</p> <p><b>【関係者による話し合い】</b> 「せたなの医療を考える会」の方々や町長との直接の話し合いが大切 もっともっと柔軟な対応をして頂きたい 福祉関係団体の会合などを通じて急を有する福祉課題の把握解決の方法について意見を求め必要事項を計画</p>

		<p>高齢者への外出支援サービス業に関すること 閉じこもり防止や生活圏の拡大を図る 年金生活者（高齢者）が疾病により病院代が支払えず、生活保護の申請者が増えている事 前町長の「安心して快適に暮らせる町」が、合併により少しづつくずれている</p> <p><b>【全町的な医療体制の連携】</b> 地域の医療がしっかりして、健康な肉体をもって初めて、町民の生き生きとしたせな町がある 医療体制の充実（入院出来るように望む。短期間） どこの地域に住んでいても、安心して暮らせるように整備。本所所在地だけの医療体制の充実は必要ない 本庁中心の医療体制づくりは不安</p> <p><b>【地域に密着した安心できる医療】</b> 身近にある診療所を、最大活用出来るようにしたい 瀬棚区の診療所を、入院可能にして欲しい 医師2名体制に入院できる診療所にして欲しいと、特に高齢者は望んでいる 医師2名体制で24時間の診療体制を整え入院できる診療所にしてほしい</p> <p><b>【瀬棚区の診療所の存続問題】</b> 瀬棚区診療所が9月以降も瀬棚区にて仕事をしてくれるのか、早く住民に知らせてほしい。多数の住民が心配 瀬棚区の診療所の先生がいなくなり、診療所が閉鎖されてしまうのではないかと、という懸念 萩野吟子記念・医科診療所の診療体制に関すること 瀬棚区の診療所の存続や医師確保の問題 医師の留年を強く望む</p> <p><b>【財政難と患者負担の増加】</b> 合併により財政難の理由により薬剤師さんや素晴らしい看護師さんが診療所から去られた事は残念 医療が縮小されている 負担増に怒りを覚える</p> <p><b>【高齢化の進行と医療・福祉の連携】</b> 福祉サービスの充実（高齢者、障害者等） 福祉体制の充実</p>	<p>毎日健康に過ごすための家庭医によるプライマリケア 予防医療を中心にした、保健医療福祉の充実 これまで瀬棚区で積み上げてきた地域医療に対する取り組みをいまいちど掘り下げ「保健、医療、福祉」の連携強化を図る 現況の老人人口を町外や子供達の所へ転出するための空家を活用した軽ホームの様な場所の受入れ作り等</p> <p><b>【全町的な医療体制の連携】</b> 療養型入院患者は、ベット数の削減によって病院は出されたが、ホームにも入れず自宅療養の方が多くなるし、又自己負担も大きくなる事などを念頭におき地域医療計画を</p> <p><b>【医師の確保】</b> 瀬棚区として医師2人体制の確保が緊急の課題 町長は今いる医師に耳を傾け「絶対医師を離さない。守る」ことに力を注ぐ 町の理事者にお医者さんを捜してもらえない 長期滞在出来る医師の確保 自治医科大との連携を継続させる 町が医師が残ってくれるような予算をつける</p> <p><b>【医療費の経費軽減】</b> 町民の医療関連の負担の経費軽減を、充分考えてほしい 経費削減を考え、町3役の給与をまだまだ減らす</p> <p><b>【医療施設の活用、広域連携】</b> 立派な診療所が入院病棟付であり、これは充分活用することを忘れてはならない 二次医療圏については、八雲町や他の自治体の連携をはかり、広域連合</p> <p><b>【地域に密着した安心できる医療】</b> せな町に基幹病院は必要ない。各区にベット数10～15位で医師2～3名の診療所にして、重病人は大きな病院と連携</p> <p><b>【福祉ハイヤーの活用】</b> 通院利用券の発行に加えて、各事業への参加、買物（特に冬期間）などにと、回数にかかわらず利用できるハイヤーの割安料金（半額）制度の導入 ハイヤーを利用しやすくするためにも、ハイヤー会社との交渉</p>	<p>化 福祉関係団体の地域福祉の声を十分に集約してしかるべく方法を計画</p>
--	--	--	---	--

文章上の誤字脱字及び個人に係る表現は、事務局の判断で修正してあります。

住民活動者の指摘、意見【子育て支援】

大区分	テーマ	居住地	地域の話題、課題	地域としての解決策、アイデア	今後の検討方策や検討の進め方
地域活動	子育て支援	北檜山区		【小児医療の充実】 少子化対策の推進為にも北檜山国保を主幹病院として小児科を設けてほしい 優秀な小児科医を週二回位の巡回診療をお願いする	【地域ごと、団体ごとの懇談会】 各地域ごとに小集会的な懇談や各団体等で懇談会を実施し、住民の意見交換等を進め、住民の生活の向上を図る
		大成区			
		瀬棚区	<p>【子どもの数が減った】 子供の人数が少ない</p> <p>【子どもの登下校の防犯、安全の確保】 児童の登下校中の防犯への取り組み 子どもたちの登下校時などの安全対策</p> <p>【住民の自主的な意識が不足している】 子供会の運営にあたって、行政や学校が事務、運営の手伝いや協力をする事は厭わないが、参加住民自身が行う面が少なく、頼っている部分が多い 住民が上からのお膳立てでやらされているという意識が抜けている</p> <p>【行政の子ども活動の支援に地域差がある】 子どもたちの活動に対する町の支援体制に差がある</p>	<p>【子どもの数の減少への対応】 生徒数の減少により、保護者の負担が増える一方であり、ぜひ予算化をできればと考えている</p> <p>【住民の自主的な意識の育成】 住民の中からリーダー育成・要請の勉強会の実施 行政・学校以外のメンバーから事務局運営の実際をやらせては 地域全体で子どもを育てるという発想やボランティアの確保</p> <p>【既存の施設の活用】 合併して新しい施設も望むが、せめて現在ある様々な施設の保持、再生を強く望む</p>	

文章上の誤字脱字及び個人に係る表現は、事務局の判断で修正してあります。

住民活動者の指摘、意見【児童福祉教育】（子育て支援と一部重複）

大区分	テーマ	居住地	地域の話題、課題	地域としての解決策、アイデア	今後の検討方策や検討の進め方
住民活動	児童福祉	北檜山区			
		大成区			
		瀬棚区	<p>【子どもの数が減り、保護者の負担が増えている】 日常の部活動での必要な消耗品はPTA会費や部費等で賄っているが、生徒数の減少に伴って財政的に非常に厳しい状況であり、保護者の負担が増える一方 中体連参加の輸送費や参加費について補助はあるが、教育活動の一環として全員部活加入制をとっており、日常の部活動運営に関する補助があるとありがたい</p> <p>【子どもの登下校の防犯、安全の確保】 児童の登下校中の防犯への取り組み 子どもたちの登下校時などの安全対策</p>	<p>【子どもの数の減少への対応】 生徒数の減少により、保護者の負担が増える一方であり、ぜひ予算化をできればと考えている</p> <p>【住民の自主的な意識の育成】 地域全体で子どもを育てるという発想や、ボランティアの確保</p>	

文章上の誤字脱字及び個人に係る表現は、事務局の判断で修正してあります。

住民活動者の指摘、意見【地域振興】

大区分	テーマ	居住地	地域の話題、課題	地域としての解決策、アイデア	今後の検討方策や検討の進め方
地域活動	地域振興	北檜山区	<p><b>【地域の人口減少、過疎化】</b> 町の範囲が広くなり、自分の町でありながら町に対する一人一人の思いが稀薄になった 民生委員児童委員は、災害時一人も見逃さない運動を考えている・過疎、人口減、高齢化によって組織や町内会の役割等が果たせなくなっていく事が心配 どんどん人口が減り、老人ばかり取り残されて不安</p> <p><b>【せたな町の将来展望】</b> 新町せたな町の将来的展望について 住民には、教育、医療、福祉、生活と権利等、せたな町の将来展望が映っていないのが実感。ここに住民の不安とあきらめが混在しての心境ではないか 町の不景気、年金者にも容赦なく、いきなりの高税にとまどっている</p>	<p><b>【過疎化や災害に対応した町づくり】</b> 自然災害発生時にひとり暮らし高齢者や、高齢者だけの世帯、障害がある方、幼い子供を抱えた子育て世帯、その他自力であるいは家族だけで避難などをすることが困難な方々を見逃さない</p> <p><b>【合併後の全町の一体感づくり】</b> 移住やUターンを受け入れられる地域づくり 地域の意見を集め、専門に話し合える場を立ち上げる。諦めて口を結んでいる地域の人達に PTAや学園やクラブ・サークルなどに加入している人は別としても、町内会は全戸が対象になる、役場職員が各地区への担当者として貼り付いていたが、あれは心強かったので再び考えては 三地区の特色を活かしつつ、融合化、一体化にたった将来展望を明確にし、町民にみせる</p>	<p><b>【テーマをハッキリさせて話し合う】</b> 地域住民と良く話し合いを持つ、テーマをはっきりして意見や考えを集約されては あまり問題を掘り下げると難しくなり意見が出ない</p> <p><b>【少人数の、直接の会話を】</b> 各地区の中、高、若者からアンケート式ではなく、懇談会の中でどうしたら住み良いせたな町になる意見を計画づくり担当者も町民の少人数での話し合い(小グループ)にも話を聞く機会を常に持つ</p>
		大成区	<p><b>【地域の人口減少、過疎化】</b> 5年～10年後には、空家の増加と人口の空洞化 人口減少は少子化や若者が都会へ就職し出て行くため、それも原因の一つと思う</p> <p><b>【高齢化の進行】</b> 独居、単身老人、病身の高齢者が人口の1/3以上を占めている</p> <p><b>【合併後の地域の活性化の動向】</b> 合併後の地区の活性化が見えない 近々、高校が廃校。給食センター等の働く場所を失う 大成高校の閉校後の利用について</p> <p><b>【ペット問題】</b> 野良猫の横行について、町長宛にも要望書を提出しているが、一向に進展がなく、困惑</p>	<p><b>【先進地、専門家も含めた全町的、積極的な問題解決】</b> 海の限りない資源を重要視して住民生活の中に魚のある生活設計の出来る方策を充分考える 一方的に相手の話ばかり聞くのではなく、議員だけでももっと勉強会を開いて。1つの問題(特に医療)に時間をかけるべきではないし、言われ議題で何の解決策を見い出・中央からでも知識の豊富の人を呼んで来て各区に講演会を聞くとか、町民に意見をもっと聞くとかでなければ、この問題はいつまでも解決してはいかない 全国的に同じ悩みを抱える市町村の中で参考になる地域を探し、我が町にも取り入れる</p> <p><b>【新たな住民参加の場づくり】</b> 議会の定数は賛成だが、地域に伝わっては公域のため地域によっては大幅に議員が減ることが予想される 対策として議会に変わる新しい意見を出せる機関が必要・シニアの方々が生きがいをもって活動できる環境を町として整備していくことが重要</p> <p><b>【安全でしみやすい町づくり】</b> 町内各区を結んで一日中巡回するような町内巡回バスが走っていれば町民が安心してすごせる 野良猫は将来人身被害の起きる可能性もあるので、町条例等を制定し厳格に対処してほしい</p>	<p><b>【住民主導の町づくり】</b> 事務局が原案を出すのではなく、全員で選考する形を取らなければ、(そうでないと)新しい町づくりなど望めない 計画が大筋まとまった段階で、各区住民の公聴会を開く 各区をもっと平等になれるよう、努めなければならない</p> <p><b>【関係者の意向把握に工夫を】</b> アンケート等では思うように書いたり提出してくれない 懇談会等でも意見を言ってもらえないかもしれない</p> <p><b>【地域ごとの住民懇談会の開催】</b> 年1度は地域代表懇談会開催して欲しい 色々な専門小部会等を作り、地域の方に少しでも多く参加してもらい、その意見を集約する 地域懇談会やお茶の間懇談会等を、支所長や町長を囲んで、年に2回位は開き、住民の声を聞いてほしい</p>
		瀬棚区	<p><b>【地域の人口減少、過疎化】</b> 後継者など少子化で、学校の存廃 選挙区制度が否決され、全町1区で選挙戦が行われる事となったが瀬棚・大成区の議員が減少する予感から、両区の意見が見落とされないか</p> <p><b>【合併後の地域の温度差】</b> 旧瀬棚の医療福祉、旧北檜山の各種団体への補助金、旧</p>	<p><b>【コンパクトな市街地、施設づくり】</b> 僻地校や保育所を統合する 休校や閉校などの施設をどんどん有効利用し、新しい施設は建設しない 役場は住民や各関係機関、団体等が相談しやすい、利用しやすい場で無ければならない</p> <p><b>【合併後の全町の一体感づくり】</b></p>	<p><b>【住民との話し合い】</b> 町民の声を聴き、町の考え方も町民に理解してもらい 「自分の町」を自分達で守っていけるよう底辺での話し合いを何度も何度も持つ これからどんな町になっていくのか解らないので情報を公開したり、公開討論会などを開く 行政としての対応の詰問と広く前向き、建設的な町民の</p>

		<p>大成の公営企業等、それぞれに課題があり意識に差がある  お互いの区の悪いところばかり探すようなギスギスした感じがする  住民意識の差がそのまま選挙結果になるので、どうにもならない  相当の時間をかけるほか意識の差は埋まらない  3町合併による住民の意識の差  お互いの良いところを尊重しあうような街づくりはできないのではないか、と心配</p> <p><b>【合併後の地域の特色づくり】</b>  地域の特色がなくなるのではないかという不安  合併後の地域の平準化を進めているが、低い地域を高くするのが本来  もっと町を美化すると共に印象に残る町づくりが必要</p>	<p>過疎地だからこそ定住対策をも踏まえた、住民（弱い立場の人）が助け合い、支え合う地域づくりの構築  一つの町になったという意識をより一層高めてもらうことだと思ふ  地域住民の声に町理事者は率直に耳を傾けてほしい</p> <p><b>【合併後の地域の特色づくり】</b>  町と住民の対話の継続  「安心して暮らせる町づくり」につながる  住民参加の計画での理由で、財政問題を後世に負担が過大にならないよう行政が深い洞察力で総合的な計画にならないようにしてほしい  町が所有するバスを利用できる事は、1回2万～20万円くらいまでの間で恩恵があると思うので、瀬棚区においても相応の措置をとるべき</p>	<p>意見を求める（一部有識者による形式論机上の空論ではなく末端までの地に足のついた意見を徴する  課題を多く作らず1カ年1課題として、長期に持ちこまない</p> <p><b>【住民の意見に耳を傾ける】</b>  どんな小さな事でもいいから住民の意見を聞いてほしい  行政上のカモフラージュの手段になり勝ちなアンケート募集には不賛成</p> <p><b>【地域ごと、団体ごとで懇談会】</b>  特例区ごとに地域懇談会を開催し町民の意見を聞くべき  地域にもっと入って、住民の意見を何回も聞いてほしい  地域懇談会や団体関係者と小規模単位で委員会や審議会を開催するのが望ましい  町内会長会議などの関係を通じて地域の生活課題の分類、提示、意見交換の中から重点課題の把握と計画化の手順が肝心  町内会が一番身近な集合場所であり、情報交換の出来る場とする  庁内連合会で会議を開催し地域の課題（意見）を集約すること</p>
--	--	---	---	---

文章上の誤字脱字及び個人に係る表現は、事務局の判断で修正してあります。

住民活動者の指摘、意見【文化活動】

大区分	テーマ	居住地	地域の話題、課題	地域としての解決策、アイデア	今後の検討方策や検討の進め方
住民活動	文化活動	北檜山区	<p><b>【公共支援の減少】</b> 各種行事や助成金の大幅な減額等、枚挙にいとまない</p> <p><b>【歴史的な史跡の保全、活用】</b> 史跡の保存、利用について 「セタナイチャシ・工藤祐兼の陣」「太櫓チャシ」。これらは、産業遺産としての価値を持ちながら砂採取業者によって大きく破壊されている。また他にも埋蔵文化財に遺跡指定されている「大谷地遺跡・兜野遺跡・高山下遺跡」等についても同様 過去からの継承であるが、子孫に残すべき遺跡の管理が成されていない</p>	<p><b>【公的支援による地域の活性化】</b> 負担利用者（受益者ではなく広義の意での）の受理に対する公事性を大事にし、地域の活性化の鈍化に歯止を</p> <p><b>【歴史的な史跡の保全、活用】</b> 「北檜山区のセタナイチャシから工藤祐兼の陣・太櫓チャシキリキリ浜・太櫓番屋跡（松浦武四郎・東山金四郎滞留）・太櫓地区のアイヌ語地名」等の説明板を整備して、小学生から大人まで、また町外者にもわかるようにしてほしい 埋蔵文化財の遺跡管理については、規定どおり全箇所「埋蔵文化財包蔵地」の標柱を立てていただきたい 包蔵地の範囲を調査してカードを整備し、工事等で支障にならないよう、開建・土現等関係官庁及び業者に保存の協力依頼をするようにしてほしい。支所についても同様 早急に学芸員を採用</p>	<p><b>【各種団体関係者の意向の把握、意見交換】</b> 2種類の公的な地域団体を対象とした積極的な問題提起と解決等の論議等</p> <p><b>【直接意見交換できる懇談会の開始】</b> 意向調査のとりまとめ後、町と直接意見交換できる機会を設けてほしい</p>
		大成区			
		瀬棚区	<p><b>【過疎化、人口減少の影響】</b> 団体の統廃合に係わり、小グループの活動が制限されるかもしれないということ</p>	<p><b>【団体の規模によらない公平な支援の導入】</b> 小さなグループであっても社会教育団体として登録し、公共施設の利用にあたって減免措置を受けられるようにする</p>	<p><b>【各種団体関係者の意向の把握、意見交換】</b> 文化団体などへ加盟している団体や住民に意見を求めてはどうか</p>

文章上の誤字脱字及び個人に係る表現は、事務局の判断で修正してあります。

住民活動者の指摘、意見【**体育活動**】

大区分	テーマ	居住地	地域の話題、課題	地域としての解決策、アイデア	今後の検討方策や検討の進め方
住民活動	体育活動	北檜山区	<b>【施設整備の立ち後れ】</b> 施設、設備の見直し改善、再利用について 体育館、廃校舎、婦人研修センター、スキー場等々、施設の老朽化、それにともなう改築、再利用見直し等、これにかかわる課題が山積しており町税の有効化が図られていない	<b>【施設整備の充実】</b> 関係機関の善処を期待する <b>【民間活力を含む活用手法の確保】</b> 施設、設備の改修、解体、再利用等、個別の施設の実態に見あった対応策、民間への払い下げ、転売化 町財産の転売と賃与による利益化	<b>【全町住民の意見を聞く機会づくり】</b> 検討改善のため全町民からの意見を聴する機会づくり <b>【部門ごとの住民懇談会】</b> 部門別に検討するための住民会議等の設置 <b>【専門家の活用】</b> 専門機関の（コンサル）等による診断 民間機関のノウハウの導入（民間委託の大胆な決断）
		大成区	<b>【過疎化、人口減少の影響】</b> 子供の人数が少ない	<b>【既存の施設の保持再生の充実】</b> 合併して、新しい施設も望むが、せめて現在ある様々な施設の保持、再生を強く望む	<b>【町民を広く集めた懇談会】</b> 区の有志などの集いを設け、地域エゴになる事のないよう町の方向も議論し合うべき 行政の担当課の他、町内の各世代や各団体にひろく呼びかけし意見交換する
		瀬棚区	<b>【施設整備の立ち後れ】</b> グランド等の状態が悪い 体育施設の充実、健康施設の設備を望む <b>【地域ごと、施設ごとで利用条件に差がある】</b> 子どもたちの活動に対する町の支援体制に差がある 施設の利用等に差がある	<b>【地域ごと、施設ごとで利用条件に差がある】</b> 少年団活動の実施に当たり、施設が無料であったり、有料であったりに対応に差があるので、その差を埋める	<b>【第三者も入れた懇談会の設定】</b> 町外からの人を入れるなど、その地区に強い思い入れのない、公平に3区を見る事ができる方などにメンバーに入ってもらい、採決などの手段ではなく、グループが納得できるような決定方法が取ればよい <b>【全町的な関係者の意向の把握、意見交換】</b> 広く一般から意見を集めること。アンケートでも良い <b>【地域ごとの住民懇談会】</b> 特例区の地区懇談会を開いて住民の声を聞いてほしい

文章上の誤字脱字及び個人に係る表現は、事務局の判断で修正してあります。

住民活動者の指摘、意見【青少年・女性活動】

大区分	テーマ	居住地	地域の話題、課題	地域としての解決策、アイデア	今後の検討方策や検討の進め方
住民活動	青少年 ・女性	北檜山区			<b>【地域ごとの住民懇談会の開催】</b> 地域にもっと入って住民の意見を何回も聞いてほしい
		大成区		<b>【地域の雇用の確保】</b> 漁業が不振であるというが、このままで良いのか？ <b>【住民同士の交流による活性化】</b> 住民同士のコミュニケーションの場を設けては	<b>【誰もが出来ることから始める】</b> むずかしい計画をたてないで、誰もが出来ることをボランティアや住民の声をフルに使って実施 <b>【地域ごとの住民懇談会】</b> 地域懇談会やお茶の間懇談会等を支所長や町長を囲んで年に2回位は開き住民の声を聞いてほしい <b>【専門家、経験者のノウハウの活用】</b> 一次産業については、プロによる企業診断のようなものが必要 広い社会でいろいろな仕事を経験した人々のプロジェクトによる検討会を開く
		瀬棚区	<b>【一極集中と過疎化】</b> 経済等の一極集中化（北檜山に集中してしまうのではないかと不安） 経済等の北檜山への集中 地域の特色がなくなるのではないかと不安	<b>【地域の特色ある発展】</b> 一極集中の構造にならないよう、行政サイドでも配慮すべき <b>【廃校など、施設の活用】</b> 廃校になった校舎等を使う	<b>【住民の声に耳を傾けてほしい】</b> どんな小さな事でもいいから住民の意見を聞いてほしい <b>【住民主導の町づくり】</b> 今回アンケートをとった団体から3つ程度の意見を挙げてもらい、その中から優先順位を決めて決定する

文章上の誤字脱字及び個人に係る表現は、事務局の判断で修正してあります。

住民活動者の指摘、意見【農林業振興】

大区分	テーマ	居住地	地域の話題、課題	地域としての解決策、アイデア	今後の検討方策や検討の進め方
産業活動	農林業	北檜山区	<b>【後継者対策】</b> 後継者不足、高齢化による農業者の減少 農業後継者の花嫁対策 <b>【高齢化】</b> 農業労働力の高齢化にともない生産性の低下 <b>【基幹産業の振興】</b> 合併して財政が苦しい時こそ、農業・漁業という第一次産業を活性化 <b>【就業、雇用の機会の確保】</b> 雇用の場が少ない 公共事業の減少等	<b>【就業、雇用の機会の確保】</b> 農業分野の季節的な労働力確保と一般労働力の結びつき 若者が働ける事業等の推進 <b>【経営資源の活用】</b> 人材バンク的なものの設立 協同経営（法人）の支援策	<b>【住民同士が気軽に集い、発言できる場づくり】</b> 各分野の人が気軽に意見を言えるような場を設ける 3ヶ月に1度位、各区単位での話し合いの場を儲ける <b>【専門家、経験者のノウハウの活用】</b> 農業、漁業に携わってる人たちの意見をすい上げていくことが大切（話し合いの場をもうける）
		大成区	<b>【高齢化、人口減少】</b> 年々農林漁業を含めた産業が衰退し、人口の減少にもつながっている 高齢化による後継者不足 <b>【基幹産業の衰退】</b> 一次産業の振興 地場産業の活性化 遊休農地の有効活用	<b>【耕作放棄農地の有効活用】</b> 農業をする人がいなくなり、未使用農地を有効に活用してもよい <b>【市街地住民や高齢者と交流した新しい農業の振興】</b> 一般町民、高齢者等によるシルバー農業の創出と、新規就農者の導入 観光農業をめざしモデル施設の整備 それぞれの区ごとに、目玉となる産業に行政としても力を入れ、地域に特徴ある産業を育てる	<b>【専門家、経験者のノウハウの活用】</b> 一次産業については、プロによる企業診断のようなものが必要 広い社会でいろいろな仕事を経験した人々のプロジェクトによる検討会を開く
		瀬棚区	<b>【後継者対策】</b> 後継者の花嫁対策 <b>【農業経営基盤の低迷】</b> 農産物価格の低迷（特に米）等による所得減少 牛乳生産調整	<b>【人材の育成や人材の活性化】</b> 花嫁対策には予算の確保や専任担当者の配置をし積極的な活動を 若者達との懇談会の実施 指導者の設置 <b>【農業経営基盤の強化】</b> 新規作目の導入による所得向上 補助事業の導入	

文章上の誤字脱字及び個人に係る表現は、事務局の判断で修正してあります。

住民活動者の指摘、意見【水産業振興】

大区分	テーマ	居住地	地域の話題、課題	地域としての解決策、アイデア	今後の検討方策や検討の進め方
産業活動	水産業	北檜山区			
		大成区	<p><b>【後継者対策】</b>                      基幹産業である漁業後継者の問題、子供の数の減少、後継者問題                      一次産業である漁業就労者が高齢になり後継者がいない</p> <p><b>【基幹産業の振興】</b>                      漁業政策を確立し浜の暮らしを守るための具体的検討                      漁業不振                      主漁業であるイカ漁が6月～12月であり、1月～5月は無職なので、この間、生活できるだけの漁業を造ってほしい</p>	<p><b>【育てる漁業の推進】</b>                      わずらわしさなどの問題解決、漁種の間育成を活発にし、漁獲数を上げる                      大成区に合う、堅実的な養殖をやってほしい</p> <p><b>【すぐ出来ることから始める】</b>                      第一次産業である水産関係の加工に重点を持つ人の意見なりを大事に致し本庁、区役所に「すぐやる課」を設置</p>	
		瀬棚区			

文章上の誤字脱字及び個人に係る表現は、事務局の判断で修正してあります。

住民活動者の指摘、意見【商工業・観光・建設業振興】

大区分	テーマ	居住地	地域の話題、課題	地域としての解決策、アイデア	今後の検討方策や検討の進め方
産業活動	商工業 ・観光業 ・建設業	北檜山区	<b>【お土産がない】</b> 日持ちするお土産（洋菓子系）がない。洋菓子系が欲しい！	<b>【新しい産業をつくる】</b> 有名な腕のあるパティシエを呼ぶ 若いパティシエを育てる	<b>【地域ごと、団体ごとの懇談会】</b> 各地域ごとに小集会的な懇談や各団体等で懇談会を実施し住民の意見交換等を進め住民の生活の向上を図る
		大成区			
		瀬棚区	<b>【商店街の衰退】</b> 空き店舗が大変に目立つ もっと町を美化すると共に印象に残る町づくりが必要 <b>【地元消費・商業の低迷】</b> 消費の低迷、町のイメージダウン、サービスの低下につながる 消費者の町外流出で、商工業者も大変な時ますます心配 土木建設業の仕事が減り、仕事に就けない人が多くなっている 当町は農、漁業を中心とした1次産業が主であるが、それらを支える商工業が景気が悪いという事を聞く 公共団体の財政難やインフラ整備がある程度頼っている状況から、建設企業等で働く方々が仕事もなく収入もない人が増えているのは、自分たちの事だけを考えるのが精一杯で町がどうしたら良くなるかと考える人は少ない状況 <b>【各種団体活動への支援】</b> 諸団体の補助制度について一律カットは好ましくない 諸団体の補助制度について	<b>【食を中心とした地域経済の連携と活性化】</b> 3地区の食を利用して、地域経済の活性化を図るべき 官民一体の取り組み 地域の食を中心に、一次産品、二次産品を積極的に開発すべき 異業種交流を図りながら地域経済の活性化 <b>【中長期的な理念の確立】</b> 中長期の理念を執行者が住民に理解していただくよう努力すべき <b>【各種助成制度の確保】</b> 補助が必要か当面は必要か全く必要ないとした区分を明解にし理解をうながすべき <b>【景観と緑に配慮した美しい街なみづくり】</b> メインストリートの外壁を統一色にする グリーンベルトの花だんを半分つぶしてベンチを設置 <b>【新規開業の支援】</b> 空き店舗を町が窓口になって起業案に斡旋 開業する上での支援策を講ずる 新しい産業を創出し雇用の場の確保や、定住者が増えればいい事はわかっているが、どういう産業を創出できるか	<b>【地域ごと、団体ごとの懇談会】</b> 地域懇談会や団体関係者と小規模単位で委員会や審議会を開催するのが望ましい 各団体での意見交換 商工会 町内会など

文章上の誤字脱字及び個人に係る表現は、事務局の判断で修正してあります。